

**平成27年度**  
**事業報告書**

**社会福祉法人**

**鹿沼市社会福祉協議会**

# 目次

---

## I 適正な法人運営と施設管理

1. 法人運営の確立	
(1) 会議等の開催	1
(2) 会員制度の勸奨	3
(3) 事務の効率化	3
2. 効率的で適正な施設管理・運営	
(1) 総合福祉センターの管理運営	3

## II 総合的な福祉事業の推進

1. 福祉啓発の充実・強化	
(1) 社協だよりの発行	5
(2) 第42回鹿沼市社会福祉大会の開催	5
(3) 栃木県社会福祉大会での受賞	6
(4) 米寿記念品の贈呈	6
(5) 啓発物品の配布等	6
2. 関連団体等の育成と連携	
(1) 福祉団体等の主体的な活動促進	7
(2) 民生委員児童委員等との連携	7
3. 支援を要する世帯等への支援	8

## III 地域福祉活動の推進

1. 地区社協の活動支援と連携促進	
(1) 第二期地域福祉活動計画の推進	1 1
(2) 地域の主体的な活動促進	1 1
(3) 地区社協間の連携とネットワーク	1 2
2. 安心生活創造事業の受託	1 2

## IV ふれあいのまちづくり

1. ボランティアの発掘と育成	
(1) ボランティア団体等の育成支援とネットワークづくり	1 3
(2) ボランティア養成と活動促進	1 4
(3) 福祉機材の貸出	1 6
(4) 善意銀行の運営	1 7
2. ふれあいの心の育成	
(1) ふれあいのまちづくり推進大会の開催	1 7
(2) 福祉啓発標語・ポスターの募集	1 7
(3) 各種相談・連絡件数	1 7

## V 災害対策事業

1. 鹿沼市内における災害支援 .....	19
2. 災害派遣用車両の活用 .....	19
3. 義援金の受付	
(1) 「東日本大震災義援金」の受付 .....	19
4. その他	
(1) 災害ボランティアグループの活動支援 .....	19

## VI 介護と自立支援

1. 介護保険事業の推進	
(1) 居宅介護支援事業（ケアプラン策定等） .....	20
(2) 訪問介護事業（ホームヘルプサービス） .....	20
(3) 通所介護事業（デイサービス） .....	21
(4) 訪問入浴介護事業 .....	21
2. 在宅介護支援センターの運営 .....	21
3. 障害福祉サービス事業の推進	
(1) 居宅介護事業（ホームヘルプサービス） .....	22
(2) 指定特定相談支援・指定障害児相談支援事業 .....	22
(3) 訪問入浴サービス事業 .....	22
4. 日常生活自立支援事業（あすてらす）の推進 .....	22

## VII 養護老人ホーム「千寿荘」の運営 .....

23

## VIII 障害者支援施設「やまびこ荘」の運営 .....

25

## IX 高齢者福祉センターの運営 .....

27

---

## <参考資料> .....

28

1. 会費（年度別状況）
2. 総合福祉センターの利用状況
3. 社会福祉大会表彰受賞者（鹿沼市社会福祉大会、栃木県大会）
4. 関連ボランティア
5. 共同募金の状況
6. シニアライフみまもり隊月別活動状況
7. 介護保険事業の各種サービスの提供状況
8. 障害サービスの提供状況
9. 高齢者福祉センター利用者状況

## I. 適切な法人運営と施設管理

各種施策の推進母体としての適切な法人運営と運営基盤の強化を図るとともに、地域の福祉活動拠点として効率的な施設運営に努めた。

### 1. 法人運営の確立

#### (1) 会議等の開催

①理事会、評議員会等により適正な法人運営と幅広い情報収集に努めた。

開催日	会 議	出席者数	内 容
5月26日	理事会(第180回)	11名	(1)平成26年度事業報告の認定について (2)平成26年度一般会計収支決算の認定について (3)平成26年度公益事業特別会計収支決算の認定について (4)評議員の選任について
5月27日	評議員会(第161回)	19名	(1)平成26年度事業報告の承認について (2)平成26年度一般会計収支決算の承認について (3)平成26年度公益事業特別会計収支決算の承認について (4)理事の選任について (5)理事の選任について (6)理事の選任について
10月8日	臨時理事会(第181回)	9名	(1)鹿沼市災害ボランティアセンターの運営について
12月21日	理事会(第182回)	12名	(1)平成27年度社会福祉事業第1次補正予算の専決処分について (2)平成27年度社会福祉事業第2次補正予算の専決処分について (3)平成27年度社会福祉事業第3次補正予算の専決処分について (4)平成27年度社会福祉事業第4次補正予算について (5)ボランティアセンター(善意銀行)設置規程を廃止する規程の制定について (6)ボランティアセンター(善意銀行)運営委員会設置規程を廃止する規程の制定について (7)ボランティアセンター設置規程の制定について (8)善意銀行設置規程の制定について (9)善意銀行運営委員会設置規程の制定について (10)特定個人情報取扱規程の制定について (11)特定障害福祉サービス事業(指定特定相談支援事業及び指定障害児相談支援事業)の制定について (12)定款の一部改正について (13)指定訪問入浴介護事業運営規程の一部改正について (14)指定訪問介護事業運営規程の一部改正について (15)指定通所介護事業運営規程の一部改正について (16)知識経験者の推薦について
12月22日	評議員会(第162回)	21名	(1)平成27年度福祉事業第1次補正予算の専決処分について (2)平成27年度福祉事業第2次補正予算の専決処分について (3)平成27年度福祉事業第3次補正予算の専決処分について (4)平成27年度福祉事業第4次補正予算について (5)ボランティアセンター(善意銀行)設置規程を廃止する規程の制定について (6)ボランティアセンター(善意銀行)運営委員会設置規程を廃止する規程の制定について

## I. 適切な法人運営と施設管理

			(7) ボランティアセンター設置規程の制定について (8) 善意銀行設置規程の制定について (9) 善意銀行運営委員会設置規程の制定について (10) 特定個人情報取扱規程の制定について (11) 特定障害福祉サービス事業（指定特定相談支援事業及び指定障害児相談支援事業）の制定について (12) 定款の一部改正について (13) 指定訪問入浴介護事業運営規程の一部改正について (14) 指定訪問介護事業運営規程の一部改正について (15) 指定通所介護事業運営規程の一部改正について (16) 理事の選任について (17) 監事の選任について
3月23日	理事会(第183回)	13名	(1) 指定通所介護事業運営規程の一部改正の専決処分について (2) 平成27年度社会福祉事業第5次補正予算について (3) 平成28年度事業計画について (4) 平成28年度当初予算について (5) 定款施行細則の一部改正について (6) 職員給与規程等に関する規程の一部改正について (7) 副会長の選任について (8) 評議員の選任について (9) 鹿沼市高齢者福祉センター施設長の選任について (10) 評議員の選任について
3月24日	評議員会(第163回)	15名	(1) 指定通所介護事業運営規程の一部改正の専決処分について (2) 平成27年度社会福祉事業第5次補正予算について (3) 平成28年度事業計画について (4) 平成28年度当初予算について (5) 定款施行細則の一部改正について (6) 職員給与規程等に関する規程の一部改正について (7) 理事の選任について

### ②決算監査

実施日	監事	内 容
5月15日	筧 則男、廣瀬光行	平成27年度事業執行状況及び経理状況について

### ③社会福祉業務指導監査

実施日	検査担当職員	内 容
12月中	栃木県保健福祉部保健福祉課	千寿荘、やまびこ荘、書面による監査。

### ④内部監査の実施

実施日	監査員	内 容
2月15日	柴田貴史	事務局の帳簿等各種の管理について
2月17日	鈴木一夫、松本和明	高齢者福祉センターの帳簿等各種の管理について
2月18日	大貫雄一、島村富美子	千寿荘の帳簿等各種の管理について
2月23日	石田明美、菊池仁美	やまびこ荘の帳簿等各種の管理について

(2) 会員制度の勧奨

自治会長や地区社協役員等の関係者の協力により、会員の増強に努めた。

<会費募集結果>

( ) : 前年度比

会費区分	世帯数	口数	計(円)
普通会費(1口 500円)	21,182件 (2%減)	21,381口 (1%減)	10,685,565円 (2%減)
賛助会費(1口 2,000円)	92件 (12%減)	97口 (7%減)	194,000円 (7%減)
特別会費(1口 3,000円)	34件 (20%減)	36口 (23%減)	108,000円 (23%減)
団体会費(1口 5,000円)	71件 (1%減)	71口 (1%減)	355,000円 (1%減)
合計	21,379件 (2%減)	21,585口 (2%減)	11,342,565円 (3%減)

【参考資料 P28】

(3) 事務の効率化

①ボランティア養成講座の一部を関係する団体に委託することで、事務の効率化を図った。

◇委託を実施した講座：手話講座、点訳講座

◇委託先 手話講座・・・鹿沼地区手話通訳者連絡会、鹿沼市聴覚障害者協会  
点訳講座・・・点訳グループ「桐」

②クールビズやウォームビズの導入によるエアコン等節電、公用車の適正管理により事務費の削減に努めた。

2. 効率的で適正な施設管理・運営

(1) 総合福祉センターの管理運営

使用料の無料化、利用団体による自主管理及び、福祉団体事務室としての利用や継続利用を許可することで、施設の有効活用を図った。また、老朽化により支障が生じていた大会議室の音響設備の改修を行い、利用者の利便性の向上を図った。

なお、27年度は、災害ボランティアセンター設置期間(9月10日～11月30日)の約3か月間は施設貸出を行わなかったため、例年より3割程度少ない利用状況となった。

<会議室等の利用実績>

単位：件、人

	午前		午後		夜		合計	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
小会議室	55	440	63	531	14	131	132	1,102
中会議室	210	210	210	210	30	436	450	856
大会議室	85	1,652	66	1,696	26	695	177	4,043
和室	0	0	2	10	1	10	3	20
福祉活動の広場	74	868	83	884	37	556	194	2,308
生きがい広場	68	896	72	1,116	15	170	155	2,182
団体事務室 (※下表のとおり)	—	—	—	—	—	—	—	—
合計	492	4,066	496	4,447	123	1,998	1,111	10,511

【参考資料 P28】

<団体事務室としての利用実績 3団体>

平成28年3月31日現在

利用団体名	利用日数
鹿沼市ボランティア連絡協議会	9日
鹿沼市つくし会	0日
鹿沼市老人クラブ連合会	211日

Ⅰ. 適切な法人運営と施設管理

<継続利用許可団体 3団体>

平成28年3月31日現在

団体名	代表者
一般社団法人 鹿沼歯科医師会	佐川 徹三
鹿沼市ボランティア連絡協議会	宇賀神 伴吉
鹿沼市老人クラブ連合会	小島 正男

<自主管理登録団体 30団体>

平成28年3月31日現在

団体名	代表者	
北部地区民生委員児童委員協議会	会長	福聚 典子
中央地区民生委員児童委員協議会	会長	山縣 圭子
東部地区民生委員児童委員協議会	会長	須藤 博夫
鹿沼市ボランティア連絡協議会	会長	宇賀神 伴吉
鹿沼市老人クラブ連合会	会長	小島 正男
鹿沼市老人クラブ連合会女性部	代表	鈴木 康子
一般社団法人 鹿沼歯科医師会	会長	佐川 徹三
鹿沼地区手話通訳者連絡会	会長	星野 正人
鹿沼市身体障害者親交福祉会	会長	葉山 廣
鹿沼市手をつなぐ育成会	会長	岩瀬 昭子
鹿沼市つくし会	会長	吉村 アヤ子
鹿沼市聴覚障害者協会	会長	滝沢 克明
鹿沼市聴覚障害者協会デフサロン	役員	滝沢 時江
鹿沼市中途失聴難聴者協会	会長	矢野 美津子
お話ボランティアネットワーク	代表	指田 花子
要約筆記サークルいちご	代表	福田 清美
鹿沼市要約筆記者連絡会	会長	吉川 洋子
朗読グループ「いずみ」	会長	栃内 千恵子
デイジー「こだま」	会長	稲葉 幸枝
ボランティアグループ「チームかぬま」	代表	山ノ井 濱市
傾聴ボランティア“ありのまま”グループ	会長	黒川 貢
介護服リフォーム「ミモザ」	代表	須田 陽子
点訳グループ「桐」	会長	須田 陽子
鹿沼精神保健ボランティア「水の輪会」	会長	大坪 朋子
手話サークル「さくら」	会長	山口 美江子
子育て支援クラブ「レインボー」	代表	宮田 里枝
鹿沼市関連法人職員労働組合	委員長	駒場 政貴
鹿沼地区介護支援専門員連絡会	会長	川田 雅一
栃木県オストミー協会	会長	岩田 順三郎
鹿沼民話の会	会長	荻原 順子

## Ⅱ. 総合的な福祉事業の推進

多くの関係団体からの協力と相互連携により、幅広い分野に渡る啓発事業や支援事業を展開し、福祉の心を育むとともに、市民ニーズに対応した総合的な福祉施策を推進した。  
 <※当施策は主に共同募金（赤い羽根、歳末助け合い）の配分金を財源として実施した。>

### 1. 福祉啓発の充実・強化

#### (1) 「社協だより」の発行

広報紙「かぬま社協だより」を発行し、社協事業の周知を図った。前年度から継続して、団体会員や市内福祉関係機関へ発送することによりPRに努めた。

発行部数：毎回 31,200 部（全戸配布）

#### < 「社協だより」の発行状況 >

号数	発行日	主な掲載内容
第 204 号	6 月 25 日	◇平成 26 年度事業報告・決算 ◇社協会員募集 他
第 205 号	9 月 25 日	◇赤い羽根共同募金運動の実施報告 ◇鹿沼市社会福祉協議会会費報告 ◇平成 27 年度ボランティア活動援助金を交付 他
第 206 号	11 月 25 日	◇災害支援活動報告 ◇福祉標語・ポスター入選作品決定について ◇第 42 回鹿沼市福祉大会開催します 他
第 207 号	1 月 26 日	◇平成 28 年新年のご挨拶 ◇フードバンクかぬまを設立し、とちぎボランティアネットワークと協定を締結 ◇社協の役員・評議員改選の報告 他
第 208 号	3 月 25 日	◇第 42 回鹿沼市社会福祉大会を開催しました ◇記者の視点から見た災害ボランティア活動 ◇平成 27 年度共同募金運動結果報告 他

#### (2) 第 42 回鹿沼市社会福祉大会の開催

市民一人ひとりが参画し、共々助け合い、支えあう、思いやりのあふれる「福祉のまち鹿沼」の実現を目指し、社会福祉関係者が一堂に会し、鹿沼市社会福祉大会を開催した。

◇開催期日：平成 28 年 2 月 1 日

◇開催場所：鹿沼市民文化センター 大ホール

◇来場者数：600 名

◇共催：鹿沼市

##### ①大会会長表彰受賞者（合計 11 名・1 団体）

・社会福祉功労者・団体 2 名・1 団体

・自立更生者 3 名

・長期介護者 6 名

##### ②大会会長感謝状受賞者（合計 10 名・6 団体）

・社会福祉推進者 8 名

・善行協助者・団体 1 団体

・篤行者団体 2 名・5 団体

【参考資料 P28】



## II. 総合的な福祉事業の推進

### (3) 栃木県社会福祉大会での受賞

多年にわたって社会福祉の発展に功績のあった方々を表彰するとともに、社会福祉のさらなる発展を期して、栃木県において社会福祉大会が開催され、本市の功労者が表彰された。

#### ◇栃木県大会（県民福祉のつどい）における受賞

開催期日 平成 27 年 8 月 27 日（木）

開催場所 宇都宮市文化会館 大ホール

##### ①栃木県知事表彰受賞者

- |                   |    |
|-------------------|----|
| ・民生委員・児童委員        | 9名 |
| ・共同募金運動協力団体又は協力者  | 3名 |
| ・社会福祉施設・団体又はその従事者 | 3名 |

##### ②栃木県社会福祉協議会会長表彰受賞者

- |                 |     |
|-----------------|-----|
| ・民生委員・児童委員功労者   | 10名 |
| ・社会福祉施設・団体関係功労者 | 19名 |

##### ③栃木県共同募金会会長表彰受賞者

- |          |    |
|----------|----|
| ・共同募金功労者 | 1名 |
|----------|----|

【参考資料 P29】

### (4) 米寿記念品の贈呈

満 88 歳（昭和 2 年 4 月 2 日～昭和 3 年 4 月 1 日の生まれ）を迎えられた高齢者に、平成 28 年 2 月 1 日に開催された第 42 回鹿沼市社会福祉大会の第 1 部式典において記念品を贈呈し、米寿を祝った。

◇贈呈者数：549 名（男 185 名・女 364 名）

### (5) 啓発物品の配布等

#### ①交通安全「鈴付きメダル」の配布

「交通安全鈴付きメダル」を市内の児童福祉施設に配布し、子供たちの福祉の心の育成と交通安全の周知に努めた。

◇配布数 3,243 個（29 施設）

#### ②交通安全「黄色い帽子」の配布

市内の小学校へ入学する児童を対象に、交通安全として黄色い帽子を配布した。黄色い帽子は、登下校のサポートをするスクールガードリーダーの皆さんからも、好評である。

◇配布数：861 個

#### ③サンタクロース訪問事業

サンタクロースが在宅重度知的障害児・者の家を訪問して、クリスマスケーキをプレゼントすることによりふれあいや地域交流を促進した。

◇配布数 45 個

◇協 力 鹿沼中央ロータリークラブ・鹿沼市ボランティア連絡協議会

2. 関連団体等の育成と連携

(1) 福祉団体等の主体的な活動促進

関係団体の特色ある活動を支援し、自主的な団体活動を促進した。

<支援実績>

(単位：円)

区 分	支援団体数	金額
老人福祉団体支援	3 団体	120,000 円
障害児・者福祉団体支援	9 団体	370,000 円
児童・青少年福祉団体支援	34 団体	950,000 円
母子・父子福祉団体支援	1 団体	50,000 円
ボランティア団体支援	1 団体	200,000 円
その他の福祉団体	1 団体	50,000 円
合 計	49 団体	1,740,000 円

(2) 民生委員児童委員・福祉事務所等との連携

地域の生活実態と市民意識を把握するため、歳末たすけあい運動において民生委員児童委員協議会連合会・福祉事務所等との連携を図り各種の事業を展開した。

<歳末たすけあい運動における調査・支援実績>

(単位：円)

援助対象	援助内容	対象数	単価	金 額
支援を必要とする世帯	援助金（世帯主分）	210	5,000	1,050,000 円
	援助金（世帯主以外）	439	2,000	878,000 円
	援助金（小中学校進学児童）	36	5,000	180,000 円
在宅重度知的障害児・者 （サンタクロース訪問事業）	クリスマスケーキ	45	3,200	144,000 円
ねたきり高齢者介護者	援助金	11	5,000	55,000 円
認知性高齢者介護者	援助金	8	5,000	40,000 円
ひとりぐらし高齢者	援助金	106	5,000	530,000 円
市内福祉施設通所者	援助金	175	3,500	612,500 円
心身障害児通園ホーム通所者	おもちゃ券	110	2,000	220,000 円
合 計		1,140		3,709,500 円

## II. 総合的な福祉事業の推進

### 3. 支援を要する世帯等への支援

各種貸付制度等により低所得世帯等に必要な援助をすることで、自立を促し生活の安定を図った。

#### (1) 生活福祉資金貸付実績

資金種類	相談 件数	借入申請		貸付決定		貸付否決		
		件数	金額 (円)	件数	金額 (円)	件数	金額 (円)	
総合支援資金	生活支援費	4	3	930,000	3	795,000	0	0
	住宅入居費	0	0	0	0	0	0	0
	一時生活再建費	0	0	0	0	0	0	0
福祉資金	福祉費	22	1	166,000	1	146,000	0	0
	緊急小口資金	3	0	0	0	0	0	0
教育支援資金	教育支援費	1	1	540,000	1	540,000	0	0
	就学支度費	0	0	0	0	0	0	0
不動産担保型生活資金	不動産担保型生活資金	1	0	0	0	0	0	0
臨時特例つなぎ資金		2	2	200,000	2	200,000	0	0
合計		29	7	1,836,000	7	1,681,000	0	0

#### (2) 社会福祉金庫貸付実績

貸付件数	貸付金額 (円)
63	1,554,000 円

#### (3) 災害等見舞金支給実績

区分	件数	単価 (円)	金額 (円)
風水害 (半壊)	0	0	0
風水害 (流出)	0	10,000	0
風水害 (床上浸水)	0	5,000	0
風水害 (弔慰金)	0	10,000	0
火災 (半焼)	0	10,000	0
火災 (全焼)	4	20,000	80,000
火災 (半壊)	0	5,000	0
火災 (全壊)	0	10,000	0
火災 (弔慰金)	0	10,000	0
住所不定者 (旅費)	4	500	2,000
合計	8	—	82,000

#### (4) 高額療養費貸付実績

貸付件数 0 件

\*平成 26 年度で廃止。

#### (5) フードバンクによる支援

(特活) とちぎボランティアネットワークの協力を得て、生活困窮世帯に対して食糧支援を行う「フードバンク」事業を試験的に行った。

食品の寄贈 108 件

食品の配布先 68 件 (施設 0 件 個人 68 件)

(6) 成年後見制度普及啓発等事業

判断能力が、不十分で意思決定が困難な方の判断能力を補う成年後見制度における法人後見事業（鹿沼市社会福祉協議会が成年後見人等を受任すること）を実施した。また、NPO法人の家族会から依頼を受け、成年後見制度研修会を実施した。

○法人後見事業受任件数

類型		受任件数
内訳	後見	7件
	保佐	1件
	補助	1件
合計		9件

○成年後見制度研修会

と き 平成27年8月29日（土）  
 ところ 鹿沼市総合福祉センター 2階大会議室  
 団体名 NPO法人CCV家族会  
 参加者 8名

(7) 日常生活自立支援事業（あすてらす）の推進

認知症高齢者等が自立した地域生活を送れるよう、生活支援サービス、金銭管理サービス、書類等預かりサービス等の各種サービスを提供した。

◇サービス利用対象者

- ・認知症高齢者・知的障害者・精神障害者等で判断能力が不十分な方
- ・虚弱高齢者、身体にハンディがある方で、在宅生活や入院・入所生活で自立した生活が困難な方

<相談対応実績> 平成28年3月31日現在

電話相談	1, 234件
来所相談	626件
訪問相談	0件
合計	1, 860件

<契約実績> 平成28年3月31日現在

H26年度契約総数	H27年度新規契約数	H27年度解約数	現契約数
64件	20件	14件	70件

(8) 愛の基金

生活困窮者に対し資金を交付することで、切迫する問題を解決し生活再建に向けた自立を図ること目的とする。

交付	交付金額（円）
1件	100,000円

(9) コーヒーサロン

ボランティアの育成と市民活動促進を図ることを目的にコーヒーサロンを実施した。

日 時：平成28年3月8日（火）午後6時30分  
 場 所：総合福祉センター1Fロビー  
 講 師：サバイバルネット・ライフ 代表 仲村 久代 氏  
 テーマ：「子どもの貧困・児童虐待」  
 参加者：18名

## Ⅱ. 総合的な福祉事業の推進

### (10) 生活困窮者自立支援事業

平成27年4月に施行された生活困窮者自立支援法に基づき、鹿沼市役所内に設置された「生活相談・支援センター（愛称：のぞみ）」の運営を受託し、相談員3名を配置して、生活困窮に関する各種相談に対応、就労支援や学習支援も合わせて行うことで、対象世帯が生活困窮状態から抜け出せるよう支援した。

<相談対応実績> 平成28年3月31日現在  
相談件数：214件（うち就労者数：27名）

相 談 内 容	件 数
収入・生活費について	127件
仕事探し・就職について	24件
住まいについて	19件
病気や健康、障がいについて	14件
家族関係・人間関係について	7件
家賃やローンの支払いについて	6件
税金や公共料金の支払いについて	4件
仕事上のトラブルについて	4件
債務について	2件
子育て・介護について	1件
DV・虐待について	1件
その他	5件
合 計	214件

## Ⅲ.地域福祉活動の推進

地区社協の活動を支援するとともに地区社協間のネットワークを促進することで、地域における主体的な福祉活動と地域の特色を生かした福祉施策を推進した。

<※当施策は主に会費を財源として実施した>

### 1. 地区社協の活動支援と連携促進

#### (1) 第二期地域福祉活動計画の推進

平成 24 年度に策定した第二期鹿沼市地域福祉活動計画（計画年度 25～29 年度）に基づき、市内 17 地区の地区福祉活動（コミュニティ）推進協議会が地域の実情に合った福祉活動を推進した。

#### <補助金交付実績>

地区社協名	主な事業内容	補助金額
中央地区福祉活動推進協議会	◇災害時要援護者対応事業	100,000 円
菊沢地区コミュニティ推進協議会	◇防犯・防災活動事業	78,948 円
東大芦地区コミュニティ推進協議会	◇見守り事業	142,060 円
北押原地区福祉活動推進協議会	◇高齢者支援事業	35,400 円
板荷地区コミュニティ推進協議会	◇ボランティア活動推進事業	100,000 円
南摩地区福祉活動推進協議会	◇なんまサロンの実施	15,000 円
	◇地域活動に参加できる環境づくり	30,000 円
	◇健康づくり事業	20,000 円
	◇青少年健全育成の実施	15,000 円
永野地区福祉活動推進協議会	◇移送サービス事業	18,630 円
合 計		555,038 円

#### (2) 地域の主体的な活動促進（ふれあいと創造・サービス事業）

市内の 17 地区福祉活動（コミュニティ）推進協議会を対象に、活動推進事業を委託することにより、それぞれの地区社協活動を支援し、地域の特性を生かした主体的な活動を促進した。

#### <地区社協への委託実績>

地区社協名	主な事業内容	委託金額
北部地区福祉活動推進協議会	◇友愛訪問事業	1,064,900 円
	◇北小学校交流会	
中央地区福祉活動推進協議会	◇高齢者おたのしみ会事業	1,312,250 円
	◇青少年健全育成	
東部地区福祉活動推進協議会	◇青少年健全育成事業	1,568,300 円
	◇環境美化運動	
菊沢地区コミュニティ推進協議会	◇三世代交流事業	1,543,800 円
	◇ふれあい祭り	
東大芦地区コミュニティ推進協議会	◇コミュニティまつり	512,550 円
	◇ふれあいウォークラリー事業	

### Ⅲ. 地域福祉活動の推進

北押原地区福祉活動推進協議会	◇花いっぱい運動 ◇高齢者サロン事業	1,365,950 円
板荷地区コミュニティ推進協議会	◇体育祭 ◇ほっとサロンいたが	366,750 円
西大芦地区福祉活動推進協議会	◇リフレッシュ講座 ◇ふれあいスポーツ大会	306,900 円
加蘇地区福祉活動推進協議会	◇高齢者ふれあい事業 ◇高齢者招待事業	411,050 円
北犬飼地区福祉活動推進協議会	◇満 8 8 歳祝い贈呈 ◇そば打ち教室	777,350 円
東部台地区福祉活動推進協議会	◇高齢者招待事業 ◇敬老会	1,559,650 円
南摩地区福祉活動推進協議会	◇なんまサロン ◇ふれあい農園	515,700 円
南押原地区福祉活動推進協議会	◇福祉活動推進事業 ◇研修会	659,650 円
栗野地区福祉活動推進協議会	◇高齢者サロン事業 ◇ふれあい福祉まつり	575,650 円
粕尾地区福祉活動推進協議会	◇地区敬老会事業 ◇ふれあい福祉まつり	384,150 円
永野地区福祉活動推進協議会	◇世代間交流事業 ◇ふれあい福祉まつり	317,050 円
清洲地区福祉活動推進協議会	◇交通防犯啓発事業 ◇ふれあい福祉まつり	385,350 円
合 計		13,627,000 円

※「給食サービス」は全地区で実施

#### (3) 地区社協間の連携とネットワーク

地区社協連絡協議会を開催し、地区社協間の連絡調整や情報交換を行うなど、地域福祉ネットワーク及び自立と連携の福祉コミュニティづくりを推進した。

◇平成 27 年 6 月 19 日 会長・広報委員・事務担当合同会議

#### 2. 安心生活創造事業の受託

鹿沼市より、支援を必要とする一人ひとりが、安心して暮らせる地域社会づくりを目的に実施している安心生活創造事業のコーディネーター事業と研修事業を受託した。また、県外より視察を受け入れ、事業概要とその成果をアピールした。

① 平成 27 年 10 月 29 日 (木) 山形県天童市民生委員児童委員協議会連合会

② 平成 27 年 11 月 10 日 (火) 茨城県ひたちなか市民生委員児童委員協議会連合会

## IV. ふれあいのまちづくり

各種イベントやボランティア活動等への支援をとおり、「福祉の心」を育成し、市民相互の助け合いを促進するとともに、人と人との交流の輪を広げるなど、「ふれあい」をテーマとした各種施策を推進した。

### 1. ボランティアの発掘と育成

#### (1) ボランティア団体等の育成支援とネットワークづくり

##### ①「第14回ふれあいフェスタ in かぬま」の開催支援

一人ひとりが力を合わせて行う手作りの祭典「ふれあいフェスタ in かぬま」の開催を支援し、福祉の心の育成と人々のふれあいの輪を広げた。

◇開催日：平成27年4月26日（日）

◇会場：市民情報センター1階及び駐車場

◇実施主体：第14回ふれあいフェスタ in かぬま実行委員会

◇来場者数：2,000人

##### ②ボランティア団体の運営基盤強化

積極的に活動しているボランティア団体等16団体に活動援助金を交付し、運営基盤の強化を図った。

団体名	主な活動内容	交付額
朗読グループいずみ	声の広報作成、施設訪問、対面朗読、研修会	80,000円
点訳グループ「桐」	研修会、視覚障がい者との交流会	100,000円
介護服リフォーム“ミモザ”	高齢者・障がい者の洋服リフォーム	45,000円
ボランティアふれあい	高齢者生きがい活動（サロン・友愛訪問等）	100,000円
お話ボランティアネットワークかぬま	傾聴ボランティア活動及び研修会	50,000円
たのしく踊ろう会よさこい鹿沼	高齢者福祉施設への訪問活動	50,000円
鹿沼そば商組合	施設訪問活動（千寿荘・やまびこ荘）	88,000円
子育て支援クラブレインボー「虹」	子育て	76,000円
栃木県シルバー大学校中央同窓会鹿沼支部	施設訪問活動	35,000円
要約筆記サークルいちご	スキルアップ講習会、聴覚障がい者交流会	100,000円
鹿沼精神保健ボランティア「水の輪会」	ボランティア養成講座、患者（家族）会支援、絵画展開催	30,000円
鹿沼市中途失聴・難聴者協会	手話講習会、相談会	50,000円
鹿沼地区手話通訳者連絡会	レベルアップ講座	100,000円
フラダンス「とりあえず」	高齢者福祉施設への慰問活動	50,000円
ボランティアグループ春風	高齢者福祉施設への訪問活動	30,000円
デイジーこだま	デイジー図書の作成、養成講座、スキルアップ講座	30,000円
合 計		1,014,000円



#### IV. ふれあいのまちづくり

##### (2) ボランティア養成と活動促進

①児童生徒、成人、高齢者や各種団体など、あらゆる年齢層を対象とし、幅広いテーマと具体的な体験学習をとおしてボランティア育成に努めた。また、「地域ケア」をテーマに地域主体の福祉活動を促進した。

###### 【ボランティア育成講座メニュー】

###### ◇地域ケアづくり講座

傾聴ボランティア養成講座及び災害ボランティア養成講座を開催しボランティアの発掘・養成に努めた。

###### ◇ボランティアスクール

幅広いテーマと年齢層を対象とした総合的なボランティア養成講座を開催した。

###### <地域ケアづくり講座>

###### 傾聴ボランティア養成講座

テーマと講師	日 時	参加人数等
現代のニーズ「傾聴とは敬聴」 講師：NPO 傾聴ボランティア“ありのまま” 代表 黒川 貢	10/15 (13:30～15:30) 会場：菊沢コミュニティセンター	84名 (6回合計)
傾聴のスキル(技能)① 講師：NPO 傾聴ボランティア“ありのまま” 代表 黒川 貢	10/29 (13:30～15:30) 会場：総合福祉センター	
傾聴のスキル(技能)② 講師：NPO 傾聴ボランティア“ありのまま” 代表 黒川 貢	11/5 (13:30～15:30) 会場：総合福祉センター	
認知症と傾聴 講師：NPO 傾聴ボランティア“ありのまま” 代表 黒川 貢	11/12 (13:30～15:30) 会場：総合福祉センター	
傾聴は自他共に成長する 講師：NPO 傾聴ボランティア“ありのまま” 代表 黒川 貢	11/19 (13:30～15:30) 会場：総合福祉センター	
自分の心や気持ちに傾聴する 講師：NPO 傾聴ボランティア“ありのまま” 代表 黒川 貢	11/26 (13:30～15:30) 会場：総合福祉センター	

###### 災害ボランティア養成講座

テーマと講師	日 時	参加人数等
「平成27年9月関東・東北豪雨災害」を振り返る 講師：チームかぬま、鹿沼市社会福祉協議会	2/22 (13:30～16:30) 会場：総合福祉センター	20名 (3回合計)
災害図上訓練(DIG)を学ぶ 講師：とちぎボランティアネットワーク	2/26 (13:30～16:30) 会場：総合福祉センター	
救急法を学ぶ 講師：鹿沼市消防本部救急管理課	3/4 (13:30～16:30) 会場：総合福祉センター	

<ボランティアスクール等の開催実績>

スクール名		回数	受講者数 延べ人数	備 考
手話講座 (初級)	昼の部 (5/11～)	10回	7名 49名	講師：鹿沼市聴覚障害者協会 鹿沼地区手話通訳者連絡会
	夜の部 (7/27～)	10回	11名 74名	
	昼の部 (10/26～)	10回	3名 8名	
小学生ミニ福祉講座		2回	20名	東日本盲導犬協会施設見学・車イス体験
中高生ボランティアスクール		3回	22名 44名	点字・手話体験、共同募金、
合計 (4講座)		35回	63名 195名	

②学校での体験学習支援

小中学校、高校のボランティア学習に講師派遣を行い、自主的な学校事業を促進した。

区 分	手話の体験学習	点訳の体験学習
小学校	23校 (106回)	21校 (55回)
中学校	2校 (20回)	2校 (14回)
高等学校	2校 (10回)	0校 (0回)
合 計	27校 (136回)	23校 (69回)

- ・手話講師…鹿沼地区手話通訳者連絡会及び鹿沼市聴覚障害者協会
- ・点訳講師…点訳グループ「桐」

③学校助成金配分金

児童・生徒の福祉意識の向上や学校の福祉教育への取り組みを推進するために、学校助成金配分金を12校に交付した。

	学校名	主な活動内容	交付額
1	鹿沼市立菊沢東小学校	福祉体験学習、地域ボランティア活動	65,000円
2	鹿沼市立池ノ森小学校	福祉教育活動、福祉体験学習	26,000円
3	鹿沼市立みどりが丘小学校	福祉教育活動、高齢者交流活動	76,000円
4	鹿沼市立北押原小学校	福祉体験学習、福祉教育活動	73,000円
5	鹿沼市立加園小学校	福祉施設交流事業、地域ボランティア活動	31,000円
6	鹿沼市立南押原小学校	福祉体験学習	32,000円
7	鹿沼市立清州第二小学校	高齢者交流活動	31,000円
8	鹿沼市立粕尾小学校	高齢者交流活動	29,000円
9	鹿沼市立東中学校	高齢者交流活動、福祉体験学習	107,000円
10	鹿沼市立北中学校	高齢者交流活動	69,000円
11	鹿沼市立北犬飼中学校	地域ボランティア活動	53,000円
12	鹿沼市立加蘇中学校	地域ボランティア活動、高齢者・児童交流活動	29,000円
合 計			621,000円

#### IV. ふれあいのまちづくり

##### (3) 福祉機材の貸出

ボランティア等に機材を貸出することにより活動を促進した。

##### <機材別貸出実績>

機材名	貸出回数	機材名	貸出回数
車椅子	152回	水槽	2回
高齢者疑似体験セット	17回	発電機	8回
みらいちゃん	0回	ドラムコード	10回
アイマスク	5回	ガソリン携行缶	0回
体験用杖	1回	クーラーボックス	4回
白杖	4回	テント	6回
貸出用パソコン	0回	タープテント	0回
スクリーン	13回	イス・机	2回
プロジェクター	39回	作業用具	0回
OHC・OHP	2回	旗用ポール&スタンド	0回
ブレックストーク・ブレックスコピー	0回	点字パネル・点字盤	1回
デイジー用変換機	12回	ベンチ	2回
デイジー用マイク	12回	カラーコーン	1回
デイジー用マイクスタンド	12回	脚立	0回
デイジー用HD	0回	コンプレッサー	0回
カセットテープレコーダー	12回	エアガンの口	0回
カセット用高速ダビング機	12回	拡声機	1回
デジタルオーディオプロセッサ	12回	ゲートボールセット	1回
展示用パネル一式	1回	写真パネル	0回
ボランティア号	29回	透明ポリタンク	0回
着ぐるみ	4回	教材DVD	1回
綿菓子機	34回	ウレタン製組立マット	3回
ポップコーン機	33回	演台	1回
かき氷機	29回	募金箱	1回
焼きいも機	3回	胸章	1回
うす・きね	9回		
		合計	492回

(4) 善意銀行の運営

ボランティア活動の調査研究や情報提供を行うとともに、預託いただいた金品の払出しにより、団体等の活動基盤を強化した。

<預託金品取扱実績>

単位：件、円

払出し先	26年度繰越金	27年度預託		27年度払出		次年度繰越金
		件数	金額	件数	金額	
指定なし	3,721,717	51	1,018,037	28	1,635,000	3,104,754
社会福祉団体	0	32	1,183,013	10	1,147,691	35,322
社会福祉施設	0	1	10,000	1	10,000	0
被災者支援	0	0	0	0	0	0
預金利息	0	2	707	2	707	0
合計	3,721,717	86	2,211,757	41	2,793,398	3,140,076
物 品	玄米、タオル、手拭い、米、紙オムツ、車イス、カレンダー、手帳、男性用衣料タオル、老眼鏡、液体洗剤・詰替、米、ひまわりの種、あさがおの種、酵素スープ、鹿沼市共通商品券、障害者用卓球台			鹿沼市社会福祉協議会、児童養護施設ネバーランド、福島県義援金配分委員会、ボランティアグループ「チームかぬま」、市内各種高齢者福祉施設、鹿沼市災害ボランティアセンター、粟野荘、ふれあいフェスタ in かぬま実行委員会、フードバンクかぬま		

2. ふれあいの心の育成

(1) ふれあいのまちづくり推進大会の開催

鹿沼市社会福祉大会第2部として「ふれあいのまちづくり推進大会」を開催し、ふれあいの心を育成した。

【内容】 演芸家 四代目 江戸屋 猫八

「芸の心・人の心」 ～バリアフリーについて考える～

◇開催日 平成28年2月1日

◇開催場所 鹿沼市民文化センター 大ホール

◇参加者数 600名

(2) 福祉啓発標語・ポスターの募集

小・中学生を対象に福祉標語及びポスターを募集することにより、子どもたちの福祉への理解啓発を図った。最優秀作品はポスターにして、市内の施設・学校等に配布した。

<標語・ポスターの応募実績>

区 分	福祉標語		福祉ポスター		合 計
小学生の部	20校	2,040点	6校	15点	2,055点
中学生の部	6校	1,646点	4校	8点	1,654点
合 計	26校	3,686点	10校	23点	3,709点

(3) 各種相談・連絡件数

市民が地域で安心して暮らせるように、貸付、あすてらす、成年後見制度等に関する各種相談事業を実施した。

<相談・連絡実績>

1-1 相談件数

単位：件

事業名	社会福祉金庫	生活福祉資金	あすてらす	成年後見制度	合 計
相談延人員	275	563	1,860	208	2,906

## V 災害対策事業

平成27年9月9日～10日に発生した「関東・東北豪雨」は、鹿沼市にも「50年に一度」と言われる甚大な被害をもたらした。

社会福祉協議会は、初めて「鹿沼市災害ボランティアセンター」を設置し、全国から駆けつけたボランティアとともに、約3か月間にわたり市民の生活復旧に努めた。

### 1. 鹿沼市災害ボランティアセンターの活動について

(1) 開設期間：平成27年9月10日～11月30日（53日間）

(2) 派遣人数：延べ6,476人

(3) 団体受入数：160団体

(4) ボランティア派遣件数：428件

(5) 地区別ニーズ件数

町名	件数	町名	件数	町名	件数	町名	件数
府所町	52	下武子町	44	睦町	41	府所本町	40
西鹿沼町	34	加園	26	府中町	22	板荷	21
不明	21	御成橋町	17	大和田町	17	貝島町	13
富岡	13	磯町	6	武子	5	下日向	5
楡木町	5	上南摩町	4	日吉町	4	東末広町	3
玉田町	3	千渡	3	油田町	3	花岡町	2
下田町	2	幸町	2	上殿町	2	仁神堂町	2
朝日町	2	奈佐原町	2	文化橋町	2	三幸町	1
上野町	1	上田町	1	引田	1	下沢	1
高谷	1	草久	1	下久我	1	上石川	1
入栗野	1					合計	428

(6) 主な協力団体（順不同）

日本財団、鹿沼市ボランティア連絡協議会、災害ボランティアグループチームかぬま、とちぎボランティアネットワーク、宇都宮大学、レスキューストックヤード、にいがた災害ボランティアネットワーク、災害ボランティア活動支援プロジェクト会議、荒川区社協、足立区社協、前橋市社協、大津市社協、丹波市社協、深谷市社協、栃木県社協、県内市町社協、四日市市社協、静岡市社協、雫石町社協、神奈川県ボーイスカウト、かながわ311ネットワーク、ReVA、鹿沼J.C、宇都宮J.C、生協、鹿沼市役所職員有志一同、鹿沼秋まつり若衆会、宇都宮高校、鹿沼高校、黒羽高校、広島大学、岩手県立大学、日本社会事業大学、日本体育大学 他多数

(7) 活動内容

○災害ボランティアの紹介

被災者からの連絡を受け、災害ボランティアの紹介をし、家屋内の土砂の除去、家具の撤去、ごみ出し、床下の泥出しなどを行った。

○生活福祉資金貸付の相談

被災された低所得世帯を対象に、生活福祉資金貸付の相談に応じた。

○応援社協やNPO等との連携によるニーズ調査

応援スタッフの協力を得て、被害の大きい地域を戸別訪問し、ニーズの有無を調査した。

また、ニーズが出された世帯を再訪問し、その後の状況の把握に努めた。

○大学生等による被災者宅訪問活動

災害ボランティア活動支援プロジェクトから提供された応援物資の詰め合わせセット「うるうるパック」持参し、大学生が被災者宅を訪問し、精神的なケアを行うと共に新たなニーズの掘り起こしに努めた。

※うるうるパックの中身（ボディシート、食器用洗剤、飴、雑巾、タオルなど）。

(8) 運営体制

○事務局長をセンター長、鹿沼市ボランティア連絡協議会長を副センター長とし、「総務」「資材」「受付」「ニーズ」「マッチング」の5班からなる体制にて災害ボランティアセンターを運営した。

被害が大きい地域には「コーディネーター」を送り、現地で活動するボランティアのとりまとめを行った。

○災害ボランティアセンターの活動方針を決定するにあたり、運営委員会を開催した。

第1回	9/10	災害ボランティアセンター設置を決定
第2回	9/22	2週間の予定であった災害ボランティアセンターの開設期間の延長を決定
第3回	9/29	災害ボランティアセンターの活動内容を生活支援型に移行すること決定
第4回	11/1	11月で災害ボランティアセンターを閉所すること決定
第5回	11/30	閉所後は通常業務の中で対応すること、検証作業を行うこと決定

(9) 生活応援窓口の開設について

「生活応援窓口」を開設し、災害ボランティアセンター閉所後に寄せられるボランティアへの依頼や各種相談に対応することに努めた。

(10) 検証作業について

社協職員を中心に、鹿沼市ボランティア連絡協議会会長、災害ボランティアチームかぬまのメンバー、市防災担当者等を交え、災害ボランティアセンターの対応について検証する場を設けた。

2. 災害派遣用車両の活用

継続的にボランティア活動を支援するためのワンボックス車を災害ボランティアグループ「チームかぬま」に貸出し、下記の活動をチームかぬまで行った。(貸出回数 12回)

主な活動内容	活動場所
関東・東北豪雨被災地支援	茨城県常総市
東日本大震災被災地支援	岩手県一関市、宮城県石巻市、福島県南相馬市
新潟・中越沖地震被災地支援	新潟県魚沼郡川口町
県内ボランティア活動	チャリティーウォーク

3. 義援金等の受付

(1) 「関東・東北豪雨」の受付（善意銀行で取扱）

窓口での受付（平成27年度：27件 1,025,472円 鹿沼市災害ボランティアセンターへ支出）

(2) 「関東・東北豪雨」の受付（共同募金で取扱）

窓口での受付（平成27年度：2件 19,755円 栃木県共同募金会へ入金）

4. その他

(1) 災害ボランティアグループの活動支援

災害ボランティアグループ「チームかぬま」の活動に支援を行った。

## VI. 介護と自立支援

介護保険指定事業者として常に質の高い在宅サービスの提供に心がけ、各種介護保険事業を推進した。また、介護予防・自立支援事業に取り組み、寝たきりや要介護状態への進行を防止するなど高齢者の住み慣れた地域での自立した生活を支援した。さらに、障害者のための居宅介護・訪問入浴事業を推進した。

### 1. 介護保険事業の推進

#### (1) 居宅介護支援事業（ケアプラン策定等）

介護保険利用希望者への総合相談、サービス利用に際しての支援計画（ケアプラン）策定、さらに地域包括支援センターから介護予防ケアプラン作成を受託するなど、サービス内容を総合的にコーディネートした。また、鹿沼地区介護支援専門員連絡会事務局やとちぎケアマネージャー協会部会員として積極的に活動し情報の収集に努めた。

##### <サービス提供実績>

サービス名	利用回数（延べ数）
居宅介護支援	846回
介護予防支援	76回
合 計	922回

【参考資料 P31】

##### <介護区分別実利用者数>

平成 28 年 3 月 31 日現在

申請中	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合 計
0人	3人	4人	24人	20人	12人	12人	8人	83人

#### (2) 訪問介護事業（ホームヘルプサービス）

幅広い分野に渡る生活支援と土・日・祝祭日や時間外の対応など、利用者のニーズに即したサービスを提供した。また、利用者の生活意欲の向上と残存機能を生かしたサービス提供など、予防介護に努めた。さらに、サービス担当者会議等をとおし、関係機関との連携とより質の高いサービスの研鑽・提供に努めた。

##### <サービス提供実績>

サービス名	利用回数（延べ数）
介護支援	4,175回
介護予防支援	739回
合 計	4,914回

【参考資料 P31】

##### <介護区分別実利用者数>

平成 28 年 3 月 31 日現在

申請中	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計
0人	6人	4人	7人	6人	3人	4人	1人	31人

(3) 通所介護事業（デイサービス）

月例お誕生会、季節行事、ボランティアの協力による催し物など、デイサービスセンターで日中楽しく過ごしていただき、少しでも自宅で自立した生活ができるように、ご家族の負担を軽減できるようなサービスの提供を行うとともに、利用者の拡大に努めた。また、新たにJKA（競輪とオートレースの振興を目的とした公益財団法人）の補助により、特殊浴槽を更新した。

<サービス提供実績>

サービス名	利用回数(延べ数)
介護支援	2,753回
介護予防支援	308回
合計	3,061回

【参考資料 P31】

◇年間実施日数..... 250日

◇1日あたりの平均利用者... 12.3人

◇協力ボランティア数..... 団体数：8団体、個人数：3人（年間実施回数73回）

<介護区分別実利用者数>

平成28年3月31日現在

申請中	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
0人	2人	3人	7人	10人	6人	3人	2人	33人

(4) 訪問入浴介護事業

移動入浴車による訪問入浴サービスの提供により、要介護者を抱える家族の負担軽減を図った。

また、競合する事業所が増加する中、サービスに対する満足度を高めつつ利用者の固定化を進めた。

<サービス提供実績>

サービス名	利用回数(延べ数)
介護支援	621回
介護予防支援	0回
合計	621回

【参考資料 P31】

<介護区分別実利用者数>

平成28年3月31日現在

申請中	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
0人	0人	0人	1人	0人	0人	4人	2人	7人

2. 在宅介護支援センターの運営

要介護高齢者やその家族のニーズに対応した各種の保健福祉サービスが総合的に受けられるような様々な情報の提供を行い、在宅介護をして行く上での問題解決を図った。

<相談対応実績（延人数）>

平成28年3月31日現在

介護相談	医療相談	介護家族健康相談	保健福祉サービス	住宅改修相談	介護機器相談	介護保険相談	合計
15人	0人	0人	0人	2人	0人	31人	48人



### 3. 障害福祉サービス事業の推進

障害者総合支援法に基づき、障害者が地域で安心して暮らせるよう関係機関と連携を密に、生活意欲を引き出し、残存機能を生かし自立した日常生活が営むことができるよう支援をした。

#### (1) 居宅介護事業（ホームヘルプサービス）

障害者宅にホームヘルパーが訪問し、身体介護や家事援助、生活に関する相談及び助言などを行った。

平成 28 年 3 月 31 日現在

実利用者数		利用回数
居宅介護等	5 人	313 回
同行援護	11 人	385 回

#### (2) 指定特定相談支援・指定障害児相談支援事業

ご本人やご家族の希望する生活の実現や目標達成に向けての相談、また障害福祉サービスを有効に活用するためにサービス等利用計画を作成した。さらに鹿沼市自立支援協議会相談支援部会や県西圏域連絡会へ参加し、情報の収集や相談支援技術の向上に努めた。

平成 28 年 3 月 31 日現在

サービス名	実利用数
指定特定相談支援	8 件
指定障害児相談支援	0 件

#### (3) 訪問入浴サービス事業

地域生活支援事業により移動入浴車で居宅に訪問し、訪問入浴サービスを提供した。

平成 28 年 3 月 31 日現在

実利用者数		利用回数
訪問入浴サービス	2 人	124 回

## VII 養護老人ホーム千寿荘の運営

利用者それぞれに応じた個別支援計画を策定し、きめ細やかな支援に努めた。また、明るく家庭的な雰囲気の中での行事やレクリエーション、クラブ活動、交流会を充実させ、地域や社会との結びつきを大切にしながら運営を図った。虐待や身元不明の高齢者を一時的に保護する高齢者緊急一時避難対応室運用事業は、今年度は該当者がなかった。3期目の指定管理受託施設として、効率的な管理運営を行うことが出来た。

### (1) 利用者の状況

- ◇利用者数 51名 平成28年3月31日現在
- ◇年間異動者数 10名（新規入所5名、退所5名）
- ◇高齢者緊急一時避難対応室運用事業利用者 0名

月別利用者内訳	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入所者 (定員60名)	51	52	51	51	51	52	52	52	52	51	52	51
緊急一時避難者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

### (2) 年間行事実績

月	日	行事内容	参加者数
4月	7日	花見会	全員
	23日	地域老人との草餅つき交流会（花岡町共寿会12名、日吉町寿会23名）	全員
	26日	ふれあいフェスタ in かぬま	14名
	29日	天理教清掃奉仕活動の受入れ（97名）	
5月	10日	若鮎会カラオケ訪問（3名）	
	20日	日帰りレクリエーション（花木センター・宇都宮方面）	4名
	28日	日帰りレクリエーション（花木センター・宇都宮方面）	4名
6月	3日	日帰りレクリエーション（日光方面）	5名
	4日	日帰りレクリエーション（日光方面）	4名
	10日	中央小学校4年生訪問・交流（28名）	
	12日	シルバー大学同窓会鹿沼支部訪問・交流（9名）	
7月	9日	池ノ森小学校訪問・交流（20名）	
	28日	納涼祭（盆踊り）	全員
8月	5日	府中町たつみ会訪問（17名）	
	6日	鹿沼南高校 家庭クラブ・郷土芸能部訪問・交流（28名）	
9月	16日	敬老式	全員

Ⅶ 千寿荘

	27日	シルバー人材センター中央第一地区除草奉仕作業の受入れ (28名)	
	30日	西中学校3年生交流学習受け入れ (31名)	
10月	7日	西中学校3年生交流学習受け入れ (34名)	
	14日	西中学校3年生交流学習受け入れ (34名)	
	21日	そば招待 (日晷そば)	12名
	22日	地域老人との観劇・カラオケによる交流会 (花岡町共寿会 10名、日吉町寿会 22名)	
	27日	日吉保育園日本太鼓の訪問・交流 (27名)	
	29日	鹿沼そば商組合手打ちそば提供・訪問 (8名)	
	29日	鍼灸マッサージ訪問 (5名)	
11月	10日	文化祭	全員
	25日	日帰りレクリエーション(ニューサンピア)	18名
12月	2日	富屋特別支援学校鹿沼分校中学部の訪問・交流 (29名)	
	8日	餅つき交流会 (あおば園 17名)	
	17日	クリスマス会・忘年会	全員
1月	7日	新年祝賀会	全員
	13日	仁神堂幼稚園年長組の訪問・交流 (28名)	
	24日	若鮎会カラオケ訪問 (3名)	
	27日	宮崎会踊り訪問 (4名)	
2月	29日	鹿沼市老人クラブ連合会友愛訪問 (20名)	
3月	3日	日帰りレクリエーション (那須ニューパレスホテル)	13名

その他の定期開催行事

- ◇利用者との話し合いの会、給食委員会、荘外清掃、荘内清掃、避難訓練
- ◇健康診断、ラジオ体操、リズム体操、ウォーキング、屋内レクリエーション
- ◇大正琴、生け花、書道、園芸、手芸、誕生会、外出買物会、カラオケ

(3) 地域等との交流

◇市内の幼稚園・保育園から高校まで交流等の受入れを積極的に行った他、一般のボランティア団体等の訪問・交流を図り、地域における利用者との交流や施設との連携及び理解を深めることができた。

## VIII 障害者支援施設やまびこ荘の運営

利用者一人ひとりが自立した日常生活や社会生活を営むことができるよう、入浴・排泄・食事等の生活介護や訓練、創作活動等を行い、各種自立支援策を推進した。また、奉仕活動や環境美化活動等に積極的に参加し、社会性の高揚に努めた。

利用者が地域の一員として生活を送れるように、行事等への参加を通し、地域及び家族との結びつきを重視した運営を行った。

### (1) 利用者の状況(平成28年3月31日現在)

生活介護・施設入所支援	短期入所	生活介護(通所)	地域活動支援センターII
定員 30名	定員 6名	定員 10名	定員 5名
利用者数 25名	実利用者数 11名 (延利用数 752回)	実利用者数 12名 (延利用数 1,149回)	実利用者数 2名 (延利用数 202回)

### (2) 年間行事実績

月 日	行事内容	参加者数
4月 8日	鹿沼飲食業組合訪問(ラーメン80食)	全員
	27日 「ふれあいフェスタ in かぬま」への参加	全員
5月 12日	シルバー大学校ボランティア訪問 21名	全員
	22日 買い物実習[5/22 15名・6/2 8名]	23名
6月 3日	加蘇中学校 交流訪問学習(生徒1年生8名・教員2名)	全員
	10日 中央小学校 交流訪問学習(生徒4年生26名・教員2名)	全員
	21日 天理教清掃奉仕活動の受入れ(45名)	—
	25日 保護者合同社会見学(日光方面)	69名(保護者24名)
7月 24日	やまびこ祭り	47名(保護者14名)
9月 5日	加蘇中学校運動会への参加	6名
	6日 お囃子演奏会	29名(保護者7名)
	7日 さつき手打ち蕎麦打ち会訪問(そば60食)	全員
	19日 久我小学校運動会への参加	4名
10月 6日	西中学校運動会への参加	6名
	7日 中学校生徒交流訪問学習(西中3年生13名)1回目	全員
	14日 中学校生徒交流訪問学習(西中3年生16名)2回目	全員
	21日 日晃そば招待事業	全員
	29日 鹿沼そば商組合訪問(そば80食、うどん20食)	全員
	30日 保護者合同社会見学(サンバレー那須)	60名(保護者19名)
	31日 加蘇中学校祭への参加	4名
11月 4日	中学校生徒交流訪問学習(西中3年生16名)3回目	全員
	29日 天理教清掃奉仕活動の受入れ(39名)	—
12月 7日	若船会ボランティア訪問	全員

Ⅷ やまびこ荘

	25日	西中学校餅つき大会への参加	4名
1月	21日	新年祝賀会	全員
	23日	つくし会ふれあい交流会参加（ボーリング）	5名
3月	31日	職員お別れ会	全員
例月ボランティア		東芝ライテックユニオン（誕生者へカードや花プレゼント）、ボランティアいずみ（紙芝居ほか） 通所事業の見守り・傾聴ボランティア 各種団体余暇ボランティア（絵手紙、手芸、フラダンス、マジックショー、ほか）	
定期行事		◇地域奉仕活動（空き缶ごみ拾い）年4回実施 ◇嘱託医往診、理髪、体重・血圧測定 ◇誕生会、お楽しみ会 ◇週間行事打合せ、支援会議、献立会議、一斉清掃、避難訓練	

(3) 保護者との連携

◇保護者会（総会、役員会、懇談会）を通し、保護者との連携と理解を深めた。

## Ⅸ. 高齢者福祉センターの運営

高齢者一人ひとりが明るく希望をもち、個性を活かしながら生きがいのある健康的な生活を送れるよう、だれもが気軽に参加できる自主事業をはじめ、自動血圧計による健康チェック、教養の向上、さらに機能回復に向けた団体支援を総合的に提供した。  
 なお、高齢者の安全安心を図るため緊急時の連絡先の確認を実施した。

### (1) 年間利用状況

開所日数	利用者数	利用料収入
301日	88,192人 (1日平均293人)	17,770,100円

※ 利用者数の内訳

60歳以上 (市内)	60歳以上 (市外)	中学生～ 60歳未満	小学生・ 障害者	無料利用者	利用者合計
64,094人	2,528人	7,400人	9,153人	5,017人	88,192人

【参考資料 P32】

### (2) 自主事業の開催

各種の教養講座や健康管理を進めることで高齢者の生きがいづくりや身体機能の維持向上を図った。

<教養講座の実施実績>

内 容	開催回数	参加者数(延べ数)
ウォーキング	19回	308人
切り絵に挑戦	10回	122人
いきいき体操	19回	308人
らくらくヨガ	20回	304人
合計	68回	1,042人

### (3) 施設の有効活用

教養講座の修了者や老人クラブ等の各種団体の活動拠点として、さらに高齢者の健康づくりの拠点として当施設の有効活用を図った。

◇自主クラブの利用回数	143回	延べ利用人数	2,456人
◇各種団体の利用回数	7回	延べ利用人数	303人
◇機能回復訓練の実施回数	45回	延べ参加人数	564人

### (4) 利便性の確保

委託により売店を運営し、施設利用者の利便とサービス向上を図った。

### (5) 祝日開館による利用者の拡充

祝日開館 9日 利用者合計 2,676人

### (6) 関東・東北豪雨に伴う対応

被害にあわれた被災者とその支援ボランティアに対して無償で施設を提供した。

◇被災者	延べ利用人数	391人
◇ボランティア	延べ利用人数	557人

---

## 参考資料

---

1. 会費（年度別状況）
  2. 総合福祉センターの利用状況
  3. 社会福祉大会表彰受賞者（鹿沼市社会福祉大会、栃木県大会）
  4. 関連ボランティア
  5. 共同募金の状況
  6. シニアライフみまもり隊月別活動状況
  7. 介護保険事業の各種サービスの提供状況
  8. 障害サービスの提供状況
  9. 高齢者福祉センター利用者状況
-

### 1. 会費(年度別状況)

会費区分	平成 24 年度		平成 25 年度		平成 26 年度		平成 27 年度	
	世帯数	金額(円)	世帯数	金額(円)	世帯数	金額(円)	世帯数	金額(円)
普通会費 1口 500 円	21,874	11,020,561	22,214	11,199,243	21,697	10,930,010	21,182	10,685,565
賛助会費 1口 2,000 円	123	248,000	99	198,000	104	208,000	92	194,000
特別会費 1口 3,000 円	54	177,000	56	174,000	43	141,000	34	108,000
団体会費 1口 5,000 円	(70)	350,000	(72)	365,000	(72)	360,000	(71)	355,000
合 計	22,051	11,795,561	22,369	11,936,243	21,844	11,639,010	21,379	11,342,565

※ ( ) 内の数字は、団体会費のため世帯数合計には含まない

### 2. 総合福祉センターの利用状況

区 分	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
延べ件数 (件)	1,236	1,476	1,480	1,476	1,111
延べ人数 (人)	11,740	14,359	14,096	15,072	10,511

### 3. 社会福祉大会表彰受賞者

(順不同・敬称略)

#### (1) 第 4 2 回鹿沼市社会福祉大会

##### ①大会会長表彰受賞者

区 分	氏 名		
社会福祉功労者・団体	阿 部 仁 一	上 田 愛 子	竹の子ボランティア
自立更生者	大 塚 弘 之	大 貫 キミイ	中 田 はつ江
寝たきり老人等長期介護者	笠 原 みさ江	福 田 タケ	瀧 浪 佐 一
	落 合 鉄 也	田 村 れい子	藤 江 美恵子

##### ②大会会長感謝状受贈者

区 分	氏 名(団 体 名)		
社会福祉推進者	石 塚 武	荒 井 和 宏	佐 藤 政 江
	赤 嶺 謙 二	宇 賀 神 文 雄	隈 川 尊 雄
	下 村 光 子	根 津 チ ヨ	
善行協助者・団体	鹿沼市災害ボランティアセンターで活動していただいた ボランティアの皆様		
篤行者・団体	穂 坂 利 雄	三 上 隆 義	株式会社 日晃
	株式会社 安田測量	株式会社 和光	鹿沼木工団地協同組 合
	真如苑 (S e R V)		



(2) 栃木県大会 (第21回栃木県民福祉のつどい)

① 栃木県知事表彰

区 分	氏 名		
民生委員・児童委員	篠原 康 治	原 芳 子	加藤 美子
	宇賀神 文 恵	兼 目 千恵子	稲川 紀子
	多 田 敬 子	稲川 正 蔵	神山 寿子
共同募金運動協力団体又は協力者	大 島 久 幸	奈 良 部 實	鈴木 節 也
社会福祉施設・団体又はその従事者	川 田 法 子	石 澤 千枝子	藤 澤 美津子

② 栃木県社会福祉協議会会長表彰

区 分	氏 名		
民生委員・児童委員功労者	備 仲 征 二	青 木 美智子	福 聚 典 子
	鈴 木 洋 子	飯 野 悦 雄	指 田 花 子
	大 島 道 子	中 山 栄 子	唐 紙 糸 子
	高 橋 春 代		
社会福祉施設・団体関係功労者	大 垣 五輪子	芳 澤 由紀子	藤 江 佐衣子
	茅 島 弥 生	高 村 和 男	市 川 彩 子
	黒 子 和 子	江 田 桂 子	平 野 和 子
	福 田 雅 代	青 木 美智子	手 塚 由 紀
	篠 原 真奈美	廣 田 光 隆	大 出 菊 栄
	藤 山 叔 美	金 田 佑 佳	遠 藤 努
	永 見 千恵子		

③ 栃木県共同募金会会長表彰

区 分	氏 名		
共同募金功労者	渡 邊 東紀二		

4. 関連ボランティア

(1) 関連ボランティア数 団体数47団体

No.	名 称	主な活動内容	会員数
1	まざあくうす	絵本見せ語り・人形劇の定期公演	6名
2	ボランティア「さくら」	手話学習・聴覚障害者との交流	15名
3	水の輪会	精神保健ボランティア	8名
4	ボランティア MOMI	独居老人との交流・使用済切手収集	21名
5	なんまサロン運営連絡会	(昼間含)独居老人の支援	30名
6	鹿沼地区手話通訳者連絡会	手話通訳・聴覚障害者との交流	25名
7	友愛訪問ボランティア	独居の高齢者への友愛訪問	34名
10	ふみの会大正琴	福祉イベント等への参加	19名
11	高校生ボランティアサークル「はんず」	福祉行事への協力・ボランティア学習会	6名
12	鹿沼そば商組合	地域福祉活動	25名
13	お話ボランティアネットワークかぬま	独居老人等の話し相手	28名
14	介護服リフォーム「ミモザ」	高齢者・障害者への服飾支援	6名

15	点訳グループ「桐」	点訳ボランティア、視覚障害者との交流	24名
16	ボランティアグループ「あった会」	高齢者住居周りの修繕活動	18名
17	ボランティア「ふれあい」	特別養護老人ホーム奉仕	42名
18	要約筆記サークル「いちご」	要約筆記ボランティア活動	28名
19	朗読グループ「いずみ」	朗読ボランティア、視覚障害者との交流	16名
20	和良子の会	伝承活動	3名
21	おはなし会“ノア”	絵本・紙芝居・手遊び・歌遊び・工作	8名
22	車椅子レクダンス普及会	車椅子ダンス普及活動	59名
23	栃木県明るい社会づくり運動上都賀協議会	社会奉仕活動	3,000名
24	ボーイスカウト鹿沼第1団	福祉施設慰問、社会奉仕活動	100名
25	ボーイスカウト鹿沼第4団	福祉施設慰問、社会奉仕活動	80名
26	立正佼成会鹿沼教会	社会奉仕活動	3,000名
27	たのしく踊ろう会よさこい鹿沼	福祉施設慰問、社会奉仕活動	32名
28	快気堂	福祉施設慰問、社会奉仕活動	1名
29	栃木シルバー大学校同窓会鹿沼支部	社会奉仕活動	90名
30	ほのぼの	針灸マッサージによる社会奉仕活動	5名
31	傾聴ボランティア“ありのまま”	傾聴ボランティア	91名
32	たから船	玉すだれ・夫婦安木節・マジック	7名
33	絵本とおはなしの会	絵本の読み聞かせ	24名
34	鹿沼市中途失聴難聴者協会	中途失聴・難聴者に関連する活動	18名
35	西鹿沼町自治会福祉部シルバーサロン	地域高齢者等への活動	12名
36	宮崎会	歌・踊り、福祉施設慰問	6名
37	東武日光・鬼怒川沿線活性化連絡協議会	東武沿線活性化、地域おこし活動	5名
38	鹿沼市仲人会	結婚相談	21名
39	デイジーこだま	視覚障がい者への情報提供(デイジー製作)	10名
40	竹の子ボランティア	日本舞踊、ダンス、手品、カラオケ等	5名
41	宇都宮若草支部	車イスレクダンスの普及・施設訪問	30名
42	にはんご Friendly Class	外国籍市民の日本語学習等	6名
43	子育て支援サークルレインボー	子育て相談、体操等、絵本の読み聞かせ等	18名
44	プリティワールドボランティアグループ	腹話術、マジック等、オカリナ、ハーモニカ、パントマイム	9名
45	フラダンスとりあえず	フラダンス、コーラス	20名
46	春風	舞踊、唄、三味線	9名
47	チームかぬま	被災地支援、市内各種ボランティア活動	46名

## 5. 共同募金の状況

	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
A 募金	5,857,000	5,825,000	5,056,000	5,032,000	4,965,000
B 募金	11,310,000	10,891,620	11,724,206	11,580,000	11,376,000
合 計	17,167,000	16,716,620	16,780,206	16,612,000	16,341,000

A 募金：第 1 種社会福祉事業、更生保護事業、保育園を運営する事業、全県的に活動している福祉団体等の事業に配分されるもの。

B 募金：第 2 種社会福祉事業、市町を単位とする社会福祉協議会の地域福祉推進事業に配分されるもの。

6. シニアライフみまもり隊月別活動状況

	65歳以上(人)	高齢者 ひとりぐらし	シルバー世帯	隊員数	内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
鹿沼市	26,185	2,618	2,400	314	見守り・相談対象世帯	2,864	2,863	2,838	2,817	2,825	2,817	2,851	2,818	2,807	2,789	2,804	2,402	33,495	
					見守り・相談対象者数	3,818	3,787	3,756	3,709	3,711	3,726	3,763	3,727	3,709	3,701	3,718	3,091	44,216	
					見守り・相談延べ回数	4,692	4,668	4,568	4,518	4,620	4,773	4,686	4,645	4,796	4,577	4,401	3,901	54,845	
					内 訳	訪 問	2,946	2,918	2,845	2,826	2,858	3,035	2,942	2,880	2,796	2,807	2,627	2,299	33,967
						電 話	160	163	149	204	212	277	170	175	184	174	197	119	2,184
						その他	1,586	1,587	1,574	1,488	1,550	1,461	1,574	1,574	1,628	1,596	1,577	1,483	18,694
					宅配支援対象世帯数	27	17	20	24	61	33	10	11	3	15	23	16	260	
					宅配支援延べ回数	11	24	50	17	61	31	21	17	15	35	36	36	354	
その他の支援延べ回数	261	231	177	218	213	247	244	202	236	169	216	199	2,613						

※65歳以上の高齢者数は、市保健福祉部高齢福祉課発行の「平成27年度鹿沼市町別高齢化率一覧表」による。

※ひとりぐらし高齢者数・シルバー世帯数は、平成27年度高齢者状況調査による

※隊員数：平成28年3月31日現在

7. 介護保険事業の各種サービスの提供状況

サービス内容		平成25年度		平成26年度		平成27年度	
		実利用者	利用回数(延べ数)	実利用者	利用回数(延べ数)	実利用者	利用回数(延べ数)
ケアプラン作成	介護	125人	862回	109人	768回	76人	846回
	予防	13人	150回	11人	100回	7人	76回
ホームヘルプ	介護	44人	4,849回	44人	4,270回	21人	4,175回
	予防	29人	1,352回	17人	845回	10人	739回
デイサービス	介護	55人	3,938回	46人	3,045回	28人	2,753回
	予防	11人	439回	8人	390回	5人	308回
訪問入浴	介護	35人	804回	26人	601回	7人	621回
	予防	1人	35回	1人	52回	0人	0回

8. 障害福祉サービスの提供状況

サービス内容	平成25年度		平成26年度		平成27年度	
	実利用者	利用回数(延べ数)	実利用者	利用回数(延べ数)	実利用者	利用回数(延べ数)
居宅介護等	7人	390回	4人	187回	5人	313回
同行援護	8人	125回	11人	290回	11人	385回
指定特定相談支援	—	—	—	—	8人	4回
訪問入浴サービス	3人	77回	2人	124回	2人	124回

9. 鹿沼市高齢者福祉センター

健康で活力ある高齢社会を目指し、高齢者自身が自主性を持って、一人ひとりが個性を活かしながら生きがいのある日常生活を送ることは、大変重要なことである。高齢者福祉センターでは、利用者同士がお互いを尊重しあいながら、一日を楽しく過ごしている。元気な高齢者の社会参加と生きがいづくりの支援につながるような施設運営を基本としながら、気軽に参加できる講座等の各種事業を実施した。

(単位:人)

区 分	有料利用者						無料利用者			合計③	開所日数④	1日平均利用者数 ③÷④
	60歳以上	60歳以上 (市外)	中学生以上～ 60歳未満	障害者	小学生	小計①	未就学児	減免者	小計②			
4月	5,812	154	577	588	133	7,264	89	67	156	7,420	26	285.4
5月	5,589	179	843	573	307	7,491	176	290	466	7,957	27	294.7
6月	5,322	203	476	552	145	6,698	103	192	295	6,993	25	279.7
7月	5,489	195	640	591	231	7,146	241	176	417	7,563	27	280.1
8月	4,948	233	1,290	533	619	7,623	292	201	493	8,116	26	312.2
9月	4,800	156	652	546	190	6,344	131	1,039	1,170	7,514	26	289.0
10月	5,543	232	682	659	189	7,305	129	509	638	7,943	27	294.2
11月	5,200	197	524	607	122	6,650	79	332	411	7,061	24	294.2
12月	5,379	224	428	625	47	6,703	57	280	337	7,040	24	293.3
1月	5,643	234	487	610	56	7,030	41	191	232	7,262	24	302.6
2月	4,395	202	331	430	34	5,392	36	147	183	5,575	18	309.7
3月	5,974	319	470	664	102	7,529	70	149	219	7,748	27	287.0
合計	64,094	2,528	7,400	6,978	2,175	83,175	1,444	3,573	5,017	88,192	301	293.0
1日平均利用者数	212.9	8.4	24.6	23.2	7.2	276.3	4.8	11.9	16.7	293.0		
寄与率	72.7%	2.9%	8.4%	7.9%	2.5%	94.3%	1.6%	4.1%	5.7%			